

2024年度(令和6年度)新体力テストの結果

児童質問紙(第5学年)

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
男子	85.7	7.1	7.1	0.0
女子	61.5	23.1	15.4	0.0

体育の授業は楽しいですか

	楽しい	やや楽しい	やや楽しくない	楽しくない
男子	85.7	7.1	7.1	0.0
女子	69.2	15.4	7.7	7.7

運動やスポーツをどのくらいしていますか(体育の授業をのぞく)

	週に3日以上	週に1~2日くらい	月に1~3日くらい	しない
男子	28.6	7.1	50.0	14.3
女子	38.5	30.8	15.4	15.4

体力・運動能力(第5学年)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	14.50	21.00	32.85	46.86	46.00	9.43	152.21	18.15	53.85
女子	15.00	18.33	31.67	44.33	32.62	9.65	144.00	11.92	53.42

県平均値かつ全国平均値未満

重点課題および要因

情意面

・体育の授業は楽しい・やや楽しいと回答した男子児童が92.8%、女子児童が84.6%とやや低い。運動に対する苦手意識から授業での試合への参加や外遊びに対して消極的な児童が多いことが原因と考えられる。

体力面

・男女ともに握力・長座体前屈・ボール投げが県平均かつ全国平均未満である。日常的に体づくり運動(特に筋力を高める運動や柔軟等)の機会が不足している。握力については日々の活動に取り入れているが、まだ不十分である。

重点課題等に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ・体力向上を目的としたセット運動の中に、筋力を高める運動も追加で取り入れ、体育の授業始めに実施する。
- ・体育の時間には「ボール投げ」を積極的に取り入れ、的を狙って当てるなど、楽しみながら投球技能を伸ばしていく。
- ・各活動に応じて個別に目標を設定できるよう「学習カード」を作成し、個の伸びを記録したり評価につなげたりする。

体育の授業以外で行う取組内容

- ・朝の帯タイムや休憩時間を活用し、時期に応じて「かけ足タイム(マラソン大会に向けて)」「なわとびタイム(なわとび大会に向けて)」等を設定して運動の楽しさを実感できるようにする。
- ・児童個々が自己の目標を設定したがんばりカードを作成し、月末に成果を振り返り、次月の目標につなげていく。
- ・朝の会で簡単な柔軟運動とグーパー運動を継続して行う。(年度当初と後半で握力を比較し、伸びや変化を見取る。)

2025年度(R7年度)の重点目標値

- ・「体育の授業は楽しい」と回答した児童の割合を男子・女子ともに90%以上にする。
- ・握力の平均を、男子・女子ともに17kg以上にする。